

【工学部】 募集人員 前期日程：769人

学科の志望

2 ページの「募集人員」に示す 5 学科のうちから 1 学科を選んでください。
 希望があれば、第 2 志望として同一学部内の他の 1 学科を選ぶことができます。
 なお、第 2 志望選択の有無は、第 1 志望学科の合否判定には影響しません。

I. 実施教科・科目等

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
教科	科目
国語	国語
地理歴史	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」から 1 (注1)
公民	「公、倫」、「公、政・経」から 1 (注1)
理科	物、化、生、地から 2
数学	「数Ⅰ、数Ⅱ」と「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ」の 2
外国語	英(ICプレイヤーを使用する試験を含む)、独、仏、中、韓から 1
情報	情報Ⅰ
〔6 教科 8 科目〕	

個別学力検査等の教科・科目等	
教科等	科目等
数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ(図形の性質、場合の数と確率)、数Ⅴ(数列)、数Ⅵ(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
理	「物基、物」と「(化基、化)」、「(生基、生)から 1」の 2
外	英(英Ⅰ、英Ⅱ、英Ⅲ、論表Ⅰ、論表Ⅱ、論表Ⅲ)

II. 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点

試験区分	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学共通テスト	75	50 (注1)	50	50	75	50 (注2)	25	325	1,025
個別学力検査等	—	—	—	250	250	200	—	700	

【大学入学共通テストについての注意事項】

(注1) 「地理歴史」及び「公民」は、第 1 解答科目の成績を利用します。

(注2) 大学入学共通テストの外国語において、「英語」(リーディング100点満点、リスニング100点満点)を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

(※) 聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

III. 第 1 段階選抜 (選抜方法は 6 ページも参照してください。)

学部全体の入学志願者数が募集人員に対して約 3 倍を超えた場合は、第 1 志望学科の入学志願者数が募集人員に対して約 3 倍を超えた学科のみ第 1 段階選抜を実施します。

※第 1 志望学科で第 1 段階選抜不合格となった者は、第 2 志望学科も不合格となります。

IV. 個別学力検査等における選抜方法の補足説明

受験者全員を成績上位の者から得点順に並べ、成績上位順にそれぞれの学科の募集人員を充たすまで合格者とします。第 1 志望学科で既に募集人員が充たされており、かつ、第 2 志望学科で募集人員が充たされていない場合は、第 2 志望学科での合格となります。

V. 試験時間割

	令和7年2月25日(火)
数 学	9:00～11:30
英 語	13:00～14:30
理 科	15:30～18:00

VI. 試験場(予定)

試験場は以下のとおり予定しています。(学部等所在地は64～67ページを参照してください。)

地 区	試験実施場所	所 在 地
吹田キャンパス	大阪大学 工学部棟	吹田市山田丘2-1

VII. 2年次又は3年次からの分属

以下のとおり、2年次又は3年次から学科目及びコースに分属します。分属年次は各学科により異なります。

なお、出願時に志望(Web出願システムに入力)できるのは、学科までとし、学科目及びコースは志望(Web出願システムに入力)することができません。

学 科	学 科 目	分属予定人数	分属年次
応 用 自 然 学 科	応用化学	80人程度	2 年 次
	バイオテクノロジー	60人程度	
	物理工学	40人程度	
	応用物理学	45人程度	
応 用 理 工 学 科	機械工学	120人程度	
	マテリアル生産科学	130人程度	
	マテリアル科学コース	80人程度	
	生産科学コース	50人程度	
電 子 情 報 工 学 科	電気電子工学	100人程度	
	電気工学コース	40人程度	
	量子情報エレクトロニクスコース	60人程度	
	情報通信工学	90人程度	
	通信工学コース	35人程度	
	情報システム工学コース	55人程度	
環 境 ・ エ ネ ル ギ ー 工 学 科	環境工学	40人程度	3 年 次
	エネルギー量子工学	35人程度	
地 球 総 合 工 学 科	船舶海洋工学	40人程度	2 年 次
	社会基盤工学	40人程度	
	建築工学	40人程度	

(注) 分属予定人数は他の入学者選抜による入学者を含みます。

VIII. 旧教育課程履修者に対する経過措置について

大学入学共通テストにおける経過措置は、31～32ページを参照してください。

なお、個別学力検査における経過措置は、各教科・科目とも、旧教育課程履修者を考慮するものの、特別な経過措置はとりません。